

令和 8 年度 第 5 回 富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会 会事録

審議会等の名称	富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会
庶務を担当する部課等	上下水道部上下水道経営課 企画総務担当 電話 67-2814
会議の開催の日時	令和 8 年 8 月 5 日（水）午後 1 時 30 分から午後 3 時 35 分
会議の開催の場所	フィランセ西館 4 階 大ホール
出席者（職・氏名）	（委員） 会長 小滝勝昭、副会長 東恵子、遠藤誠作、篠原丈治、入野一人、大石和儀、服部鷹彦、渡邊啓視、岩崎園江、櫻井裕美子、濱田江理、内野浩恵、鈴木順一郎、水野桂子 （事務局） 上下水道部長、上下水道経営課長、上下水道営業課長、水道維持課長、水道工務課長、下水道建設課長、下水道施設維持課長、生活排水対策課長、上下水道経営課調整主幹及び統括主幹、下水道建設課統括主幹、下水道施設維持課統括主幹
会議の内容	・ 会長挨拶 ・ 議題 （１）富士市下水道使用料算定基準（案）について （２）富士市下水道使用料改定（案）について
配布資料（件目）	【当日配布】 ・ 次第 ・ 座席表
審議の状況	資料No.2, 4, 6 及び資料No.14 から資料No.17 について詳細な説明を行い、富士市下水道使用料算定基準（案）及び富士市下水道使用料改定（案）について審議した。
	下水道使用料の算定方法についての質疑に対し、下水道は実際の排水量を直接把握することが難しく、原則、水道の使用量を基準に算定していると回答。 次に、令和 5 年度の下水道使用料改定率についての質疑に対し、基本水量制を廃止し、0～10 m³の使用者には従量料金を適用したことに加え、B-DASH プロジェクトや高性能脱水機の導入による汚泥処理費の削減、消化ガス売却事業による収入確保など、経費削減と収入増加の取り組みを反映した結果、料金を据え置いたと回答。

	また、国庫補助金と経費回収率の質疑に対し、現状の 92.9%を上回ることが見込まれると国庫補助金の採択要件を満たすと回答。下水道使用料の改定率について、いずれの案でも経費回収率の向上、収益的収支の黒字化、資金残高などを踏まえ、国庫補助金の採択要件を満たす見込みであると回答。
審議の結果	上記、審議状況のとおり、富士市下水道使用料算定基準（案）について審議を行った結果、承認された。富士市下水道使用料改定（案）については、次回の審議会ですべて承認されるということでした。
備 考	